

令和3年度 1月(第5回) 理事会議事録

日 時 : 令和4年1月12日(水) 19:00~20:10
本会議場および Zoom による Web 参加
出席者 : (会場) ナースプラザ福岡 3F 303 研修室 副 会 長 外山洋子 総務局長 池上新一 運営理事 加藤康男、木村賢司、佐藤房枝、田代恭子、 監 事 柳本孝子、北里謙二 書 記 堀田飛香、市丸加奈子 事 務 局 金子千代美 (Web) 会 長 西浦明彦 副 会 長 倉重康彦 運営理事 荒木敏造、坂本徳隆、緒方昌倫、生田幹博、大久保文彦、長谷一憲 理 事 赤池一男、佐藤謙一、浦園真司、中村洋亮、山田久 欠席者 : 運営理事 新田誠 理 事 小野裕一郎

【議 事】 司 会 総務局長 池上新一

- ◇議 題
- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策 (2月以降) について | 会 長 西浦 |
| 2. 役員選出委員会報告について | 総務局長 池上 |
| 3. 第31回福岡県医学検査学会について | 筑後地区長 田代 |
| 4. 70周年記念式典について | 総務局長 池上 |
| 5. 日臨技九州支部医学検査学会について | 副会長 倉重 |
| 6. タスクシフト講習会について | 運営理事 木村 |
| 7. 各部報告 | |
| 8. 各地区報告 | |
| 9. その他 | |

◇会長挨拶 西浦明彦

熊本県はコロナ感染症の拡大のためフェーズ3に引き上げられましたので、自粛したかたちでWeb参加となりました。本日はコロナ感染症も拡大してきていますので、明日からのこととして考えていただくことと、計画されていくイベントについても、2月開催予定のタスクシフト講習会にも影響が来るかもしれませんので、そのあたりも含めて様々な議題について検討いただきたいと思います。

1. 福臨技のコロナウイルス感染症対策（2月以降）について 会長 西浦
先ほど三役会議を行い確認しましたが、急速に感染が拡大してきている状況であり、2月からと言うより、明日からでも当面は研修会等すべてWeb開催とすべきと結論いたしました。緒方部長には明日にでもホームページ上で、各学術や地区長は明日からでも広報して頂きたいと考えている。反対意見なく、承認された。ホームページへの掲載文は会長が作成することとなった。
2. 役員選出委員会報告について 総務局長 池上
来年度の会長候補者立候補についてですが、現副会長の外山洋子氏のみの受付で、他に立候補予定者はいませんでしたので、無投票当選で外山会長候補が決定しております。今後、定時総会を経て正式承認となります。
3. 第31回福岡県医学検査学会について 筑後地区長 田代
資料を提示。特別講演と教育講演については先生方に委嘱状を発送しております。シンポジウムはまだ仮ですが、「あなたの施設での教育方法を教えてください」～臨床検査技師への教育 伝え・育てよう～として、新人教育や部門別に発表いただきディスカッションしたいと考えています。事前参加申し込みですが、参加費は無料ですが一般会員は日臨技のサイトから、ただ企業や学生はこれを使用できないので別途準備を考えている。参加登録についてはアンケート回答にて登録を行うこととなり、かなりの労力となると思います。今後のスケジュールについては資料をご参照ください。緒方広報部長より、学会の概要をホームページにアップさせたいので、簡単で良いので、作成次第送っていただきたいとの申し出があった。西浦会長より、各地区長が学会長となりますので、学会長印を作成して頂き、関係書類等押印いただいて進めて行く方が運用しやすいのではと思っています。全理事承認し、福臨技事務局にて早急に作成することとなった。
4. 70周年記念式典について 総務局長 池上
記念式典は令和4年8月27日（土）西鉄グランドホテルにて12:00からの3時間で決定しています。遠方の方など宿泊の可能性もありますので、金・土曜日各教室を確保している。式典は祝辞、会長表彰等を含め約50分くらいの予定で、少し時間を空けて祝賀会へと考えています。来賓、招待者に関しては60周年時を参考に調整しているところです。60周年は140名ほどの参加で賛助会員にも案内を送っていましたが、コロナ禍でもあり、縮小を余儀なくされることも考えられますので、どこまで案内するのも引き続き検討していきます。西鉄グランドホテルの会場は140

名入っても問題ないとのこと。60周年の参加費は1万円でしたので、今回も1万円を軸に考えています。記念品にUSBを配られたみたいですが、今はそぐわないので1千円程度で検討したいと考えています。

記念誌については福臨技役員歴と学術の役員歴については会員名簿より掘り起こして加藤部長の方で6～8年分は作成されています。九州支部医学検査学会発表者リストは50から55回までは電子媒体で入手できている。46～49回については事務局に保管している抄録集から転記していくことになる。日臨技医学検査学会発表者リストは日臨技より63回以降の分を電子媒体で提供いただきました。61・62回については紙ベースから掘り起こせざるを得ないかもしれません。福岡県医学検査学会については事務局にファイルが存在すると思いますので、そちらを使用します。福臨技の活動記録は総会の議案書のデータを、地区活動についても同様に議案書の分を使用します。

原稿依頼については西浦会長には挨拶文の寄稿を、祝辞として福岡県知事、福岡市長、福岡県医師会会長、日本臨床衛生検査技師会会長、京畿道臨床病理士会会長への依頼を予定している。随筆依頼についてはこの10年に会長を務められた長迫氏、友松氏、副会長を務められた梶村氏、篠原氏の4名にお願いすることとしました。今後のスケジュールとして、4月末までに本日決まった内容含め作成・編集を行っていきたいと思っています。8月27日の記念式典・祝賀会の写真や原稿作成を行い、9月初旬の初稿から10月末日までには発行となる予定です。

全理事からの質問等もなく、計画通り進めていく事で承認を得た。

5. 日臨技九州支部医学検査学会について

副会長 倉重

テーマは「Going On」～つなぐ・つなげる臨床検査～です。演題募集は5月9日から始める予定で進めています。参加予定人数は1350名と設定しました。企業展示が60コマ、企業セミナー（ランチョンセミナー）を8社予定しています。特別講演は誠愛リハビリテーション病院 院長 長尾哲彦先生に決定して、すでに依頼しております。文化講演は故中村哲先生のペシャワール会にお願いしてアフガニスタンによる医療活動・用水路建設等についてお話しいただく予定で、承諾もいただいています。福臨技企画は“New Normal”新たな時代を迎えて～新型コロナウイルス感染下における技師会活動の今後～として各九州ブロックの代表、会長及び副会長、またはそれに準ずる方にご登壇いただき、コロナ禍での技師会活動や今後について議論いただきたい。各県にはすでに依頼を行っております。企画の方で進めていただいている、「臨床検査技師のワークライフバランス」あるいは「女性管理職に焦点を当てた企画」この辺をテーマとしてやっつけようとして企画を進めています。分野企画としては9分野でそれぞれ2企画、全部で18企画を用意する予定です。ポスター、ホームページは完成間近です。来週の1月19日に実行委員会開催予定としています。コロナ禍ですので、現地、Webの最終判断は5月頃としたいと思います。

6. タスクシフト講習会について

運営理事 木村

2月19日が福臨技の第1回講習会となります。日臨技より講師、実務委員には今週中資料が送られてきます。初回ですので、実務委員の方々には全員に参加願いたいので、

日臨技に登録されていない方々にはこちらで資料を作成しましたので、それをお送りいたします。しかしながら、コロナ感染症が急に増えてきましたので中止になる可能性があります。先週くるめ病院の野明先生に連絡した時には、このような感染状況ではなかったもので、早急に連絡を取り、三役を交え今後を考えていきたいと思っております。今後は4月23日、5月7日を予定していますので、ホームページにて広報していきます。

西浦会長より、野明先生だけではなく、看護師の講師の先生にも確認を取ること。こういった研修会は早め早めに対応していかないといけない。コロナが増えてきた状況でもあり、野明先生は良くて他がダメとなれば代役を考えなければいけない。緊急事態宣言等発出となれば中止せざるを得ないかもしれないが、中止の決断をいつするのかも悩ましいところである。現状では進めて行かなくてははいけないかとも思われる。講師の先生や先生方の施設の中止基準もあると思うので、早々に連絡を取り、状況確認を行うこと。

7. 各部報告

●管理・運営（荒木）

提示した資料に沿った、発送文書、2021年度会員動向報告。

●財務管理部長（加藤）

提示した資料に沿った、令和3年12月の会計報告。

令和4年度の予算についての進捗ですが、本日地区の予算書を提示しています。例年通り、会員数により計算しています。以前の会議で地区長に聞き取りをしたいと反していましたので、本日も意見を伺いたい。佐藤北九州地区長より、コロナ禍でほとんどがWebであり、公益事業が例年通り実施できるとなれば、もっと欲しいとも思われるが、現状では言い切れない所である。田代筑後地区長より、定時の金額で問題ありません。長谷筑豊地区長も同意見であった。新田福岡地区長は不在のため発言なし。それではひとまずはこの金額で進めていきます。次の理事会で承認いただくために、三役と財務担当で予算委員会を開催する予定で調整します。ここで決めた案を次の理事会でご承認いただき、次の発行の会誌ふくおかに予算書を掲載します。

講師謝礼の源泉税額についてですが、平成25年の1月より源泉税に復興税が加わっております。比率が10.21%で福臨技にてプログラムを作成し計算していましたが、先日の学会の時の会計時に日臨技と金額に差があることが発覚しました。これは、端数の切り上げと切り下げによるものでした。わずかな差ですが、2022年1月より、計算式を作り替えて運用を始めています。資料の青表示部分に謝礼金額を入れると、源泉税が計算表示されるよう変更しています。事務局より、今までは源泉税を加えたものから謝金を算出して頂いており、手間がかかっていた。ファイル全部に計算式が組み込まれていたもので、組み換え作業に時間がかかり、今となった。

●学術部長（大久保部長不在にて佐藤謙副部长より報告）

Web研修会は資料の通り。

学術奨励基金については今年度も申請なし。

西浦会長より、学術奨励基金については2年も申請が無いのであれば、何か策を講じ

なくてはいけないのかもしれませんが。良いアイデアを考えていただければと思います。

●精度管理（坂本）

12月に血液センターと血清の分与について、令和4年度分の契約を申込み、正式契約ではありませんが、受理して頂いています。血清の単価が1ml 13円が18円に値上がりしたこともあり、今まで450契約していましたが、こちらの技術向上もありロスも少なくなってきたため300で賄えると判断し、300契約とし逆に年間4万5千円ほど安くなります。12月29日に3人で血液センターに血清分与に伺っています。今月の22日にも予定しています。2月5日には予定通り、精度管理研修会をWebにて行う予定です。

西浦会長より、次年度まではこれで行くと思いますが、部長にのみ負担がかかるようではいけない。随分報告して頂けるようになったが、昔から個人運営のように見えている。きちんと計画を提示して頂き、きちんとした技師会活動として頂きたい。ある個人に頼るのではなく、誰でもできるようにシフトして頂くことが、より良い事業となっていくのではないかと思われる。

池上総務局長より、3人で血清の分与に行かれているが、それほど人手がいる作業なのか。1本の採血管から1mlほどの血清しか採取できないので、1人が何千回と行わなくてはいけない、気が遠くなるような作業であるとの回答。

西浦会長より、そういった作業であれば20~30人と動員し、すそ野を広げてもらいたい。来年はどんどん人を使って頂き、部長には司令塔となっていただきたい。

倉重副会長より、実に今度の契約は1/3も削ってありますが、今まで150ほど廃棄していたと考えてよいのか、今後大丈夫なのか、もう少し確保しておいたがよいのではないか。次の年へ持ち越すこともあったが、どうしても一定のロスがあった。技術向上もあり、担当者でそろそろ、確保量を少なくしてはと話し合っているところであった。単価が上がったことによるものではないとの回答。

●広報・情報管理（緒方）

資料有。発送作業は3月下旬に「会誌ふくおか」3月号等を予定しています。「会誌ふくおか」の投稿締切りは2月15日までをお願いします。事業計画は池上総務局長まをとめとなりますので、2月10日までに総務局長に送ってください。（池上総務局長の申し出により2月4日期限と修正になった。）

来週、がん診療連携協議会が開催されますので、参加いたします。

●企画運営（木村）

先ほどのタスクシフトの発言のみです。

●公益事業部長（生田）

毎年2月に開催されている医師会の県民健康づくりセミナーがオンデマンドで開催されるようです。2月中に収録の予定です。昨年10月の健康21世紀福岡県大会時に動画を作成しましたが、もう少し詳しく話す方がよいと思っていましたので、糖尿病もしくは動脈硬化について案を考えています。来週中にも三役の方には報告し、確認いただけたらと思っています。

8. 各地区報告

●福岡地区（新田地区長欠席にて緒方部長報告）

報告事項なし。

●北九州地区（佐藤）

資料に沿って終了した会議報告と学術活動報告。

●筑後地区（田代）

資料に沿った役員会報告及び第31回福岡県医学検査学会関連会議報告。

●筑豊地区（長谷）

報告事項ない。

9. その他

◇後援依頼や共催申請なし。

◇福臨技のベスト、のぼり旗等の購入について

副会長 外山

資料を提示していますが、ベスト、のぼり旗等の新調です。ベストは山吹色です。他団体がこの色を来ていないことが理由です。胸にロゴマーク、背中に技師会の文字です。行事等で他県と一緒にしようなときに、福岡県が目立つように県の文字を大きくしています。3つのロゴマークがあるが試験管のFAMTにしている。いくつかの意見はあったが、提示内容で進めることで了解を得た。のぼり旗は黄色と白を提示された。ベストと色を合わせる事が出来るかを確認することとなり、文字色もベスト同様にすることとなった。背景となるボードですが、青単色白、赤単色白、縁取り黒のFAMTロゴ入りの3種類を考えている。山吹色のベストを着てこの背景の前にいることを想定した場合、青が一番しっくりするのではないかとこの意見で、青単色白が選択された。

◇西浦会長より、先ほど役員選出の報告で外山副会長が会長候補として決まったとの報告からですが、現時点で外山副会長の次年度会長が濃厚となっています。今後、各地区から理事の選任となりますので、今の地区長、次年度地区長候補の方含めて、新会長体制を作ってもらわなければいけませんので、役員推薦委員、地区長含め新会長候補とも調整して頂きながら人事を進めて、安定した技師会活動が推進できる新体制構築となるよう希望しています。

議事録作成 令和4年1月14日

池上新一

議事録署名

_____ 印 _____ 印 _____ 印